第4の感色層
ズームカメラに最適
FUJICOLOR
nexia
NEW
ズームマスター
800

1. 特長及び用途

フジカラー nexia ズームマスター800 はアドバンストフォトシステム用に設計された，写真感度 ISO 800 のデーライトタイプのカラーネガティブフィルムです．第4の感色層技術及び最新のFINE-Σ（ファイン・シグマ）技術の導入により，フジカラーペーパーにプリントすることで高品質の画質を実現します．またポリエチレンナフタレートベースを採用し，高い耐久性を維持しています．

特　長	結　果
● 高感度で広い露光ラチチュード	● 広い露光ラチチュードを有し，特にアンダーネガからもメリハリ感のある鮮やかなプリントを実現
● 鮮やかで忠実な色再現	● 赤，青，黄色を鮮やかに活き活きと，紫や様々な緑色も忠実に再現
● 優れたシャープネス	● 被写体のもつ質感を細部に至るまで極めてシャープに再現
● 優れた粒状性	● 高感度を感じさせない極めて均一な微粒子を実現
● 優れた蛍光灯適性	● 蛍光灯下でも，より自然に色を再現
● 優れたグレーバランス	● ハイライトからシャドーに至るまでニュートラルなグレーバランスを実現

太陽光，ストロボなどの光源下で撮影する場合には，原則としてフィルターを使用する必要はありません．

2. 写真感度

光　源	写真感度	使用フィルター
デーライト	ISO 800/30°	不　要
タングステン電球（3200K）	ISO 200/24°＊	LBB-12＊＊

＊ 指定フィルターを使用した時の実効感度を示しています．
＊＊ 富士色温度変換フィルター

3. 露光ガイド

撮影には露出計の使用をお勧めします．露出計を使用しない場合は次表を参考にしてください．

昼間・屋外

	快晴時の海岸・山・雪景色	快晴	晴	明るい曇	曇・日陰
絞　り	f/22	f/16	f/16	f/11	f/8
シャッター速度（秒）	1/1000		1/500		

注 ・上の表は，日の出2時間後から日没2時間前までに適用されます．
・曇，日陰などでは明暗の状態が大幅に変わるため，露出計の使用をお勧めします．
・逆光での近接撮影の場合は，通常レンズ絞りを1絞りないし2絞り開けます．

室内・夜景

	日中の家庭室内（晴天）	夜間の家庭室内（6畳60W蛍光灯）	夕　景	夜　景
絞　り	f/2.8～5.6	f/2.8～4	f/4～5.6	f/2.8～4
シャッター速度（秒）	1/125	1/30	1/60	1/30

注 室内・夜景の場合は，場所により明るさが広範囲に変化するため，露出計の使用をお勧めします．
上の表はあくまで目安として使用してください．

4. 各種光源での撮影方法

デーライト（昼光）

このフィルムはデーライトタイプとして設計されているため，昼光下での一般的な被写体の撮影には，特にフィルターは必要ありません．また，朝や夕の太陽下のように色温度が低い場合の撮影でも，プリント時に色補正ができるので，フィルターでの補正を必要としません．

ストロボ

- ストロボ光は昼光にちかいので，フィルターは不要です．しかし，ストロボの種類や使用量などの要因によってはカラーバランスに影響する可能性がありますので，テスト撮影を行ってください．
- 1/60秒より低速のシャッター速度を利用すると，室内照明などストロボ以外の光の影響を受けて，カラーバランスのくずれが生じる場合があります．テスト撮影により仕上がりを確認してください．
- フラッシュメーターの使用をお勧めしますが，次頁の式により，適切な絞りを算出できます．

絞り ＝ ISO 800 のときのストロボのガイドナンバー / ストロボから被写体までの距離（m）

またオートストロボを使用する場合は，フィルム写真感度を ISO 800 にセットして使用してください．
ストロボ撮影の場合は，被写体の周囲の反射などによって露光量が変わることがあるため，使用するストロボの使用説明書に従ってください．

昼光色写真電球・フォトリフレクターランプ

- 昼光色写真電球やフォトリフレクターランプの光量は，露出計で得られた露光条件よりも低めなので，露光時間を伸ばしたり，絞りを開けて補正することをお勧めします．できる限り，テスト露光を行ってください．
- ランプの種類，使用時間，点灯電圧によって光量やカラーバランスが変化するため，それらを考慮して露光時間を決定してください．

蛍光灯

蛍光灯の照明下では，プリントがグリーン味になるのをプリント時に補正して最適な仕上がり品質を得ています．従って，フィルターによる補正は特に必要としません．シャッター速度は 1/30 秒以下の低速で使用されることをお勧めします．

タングステン電球

3200K タングステン電球を使用する場合，富士フィルターLBB-12（コダックフィルターNo.80A）で，2 絞りほど開けて撮影してください．
TTL 測光のカメラの場合は露光量補正が不要です．

5.　照明器具

照明光源の光量を調節したり，光を拡散させる目的で用いられる反射がさ，リフレクター，ディフューザーなどは，その材質及び反射面が変質していないことや，光源の色質を変えないものであることをあらかじめ確認してください．

6.　長時間露光時の露光補正

露光時間が 4 秒以上の場合は，下表のような露光量の補正が必要になります．

露光補正表

シャッター速度（秒）	1/4000～2	4	16	64
露光量補正（絞り）	不要	＋2/3	＋1 1/2	＋2

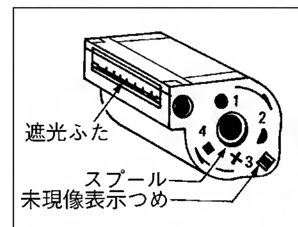
露光時間 1/4000～64秒でのフィルターによるカラーバランス補正は不要です．＋は「絞りを開ける」

7.　フィルムの取扱い

- （有効期限）　フィルムの外箱に記載の有効期限内に撮影・現像処理を必ず完了してください．
- （開封）　冷凍保存されたフィルムは，室温に戻してから，（1時間以上待って）開封してください．温度が低いうちに開封すると，結露してフィルムが使えなくなるおそれがあります．
- （フィルムの使用状態）　カートリッジ装填前に，カートリッジ側面のマークを見てフィルムの使用状態を確認してください．各マークの意味は，つぎの通りです．

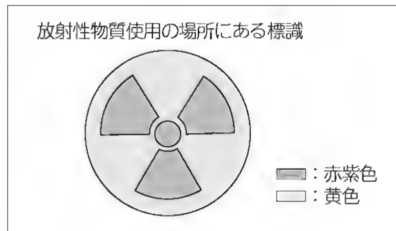
1	○	未撮影
2	D	途中まで撮影済み（カメラ機種によっては続けて撮影できます）
3	✕	撮影終了・未現像
4	□	現像済み

フィルムの先端部はフィルムカートリッジ内部に収納されています．カートリッジを装填すると，フィルムはカメラの中で自動的に引き出され，撮影開始可能となります．フィルムカートリッジの遮光ふた（出入口）を開けたり，スプールを動かしてフィルムの使用状態表示マークをずらすなど，間違った取扱いをしないでください．フィルム使用状態表示マーク脇の未現像表示つめを現像前に折らないでください．



注　このフィルムには撮影データなどが記録できる磁気層がコーティングされています．このデータは，特定の品質のプリントを注文する場合や，プリントへ撮影日を印字する場合などに利用できます．

- （装填から撮影までの時間）　フィルムを装填したらできるだけ短期間に撮影を完了し，速やかに現像処理してください．
- （X 線による手荷物検査）　空港の手荷物検査に使用される X 線はフィルムをカブらせる場合があります．フィルムは取り出して手検査を受けてください．
- （放射性物質取扱い施設）　病院，工場，研究室などの放射線を取り扱う場所（次の標識のある場所）でも，フィルムはカブるおそれがあります．フィルムは放射線源から離しておいてください．



●（磁気層） 磁気層がコーティングされていますので，磁気を帯びているものは近づけないでください．

8. フィルムの保存

現像処理前

未露光，露光済を問わず現像処理前のフィルムは温度・湿度が高いほど写真感度，カラーバランス，物理的特性などに悪影響を受けます．フィルムは次のような条件で保存してください．

● 保存場所・温度：
- ○ 冷蔵庫（温度 10℃以下）
- ○ 特に長期にわたる場合
  冷凍庫（温度 0℃以下）

開封済みのフィルムはポリエチレンやビニールなどの袋に入れ密封してください．

現像処理後

現像処理後のフィルムはカートリッジに入った状態で返却します．光および高温・高湿は処理後のフィルムを変退色させる原因になります．従って，処理済フィルムはネガシートに入れて，通気性の良い乾燥した冷暗所に，次のような条件で保存してください．

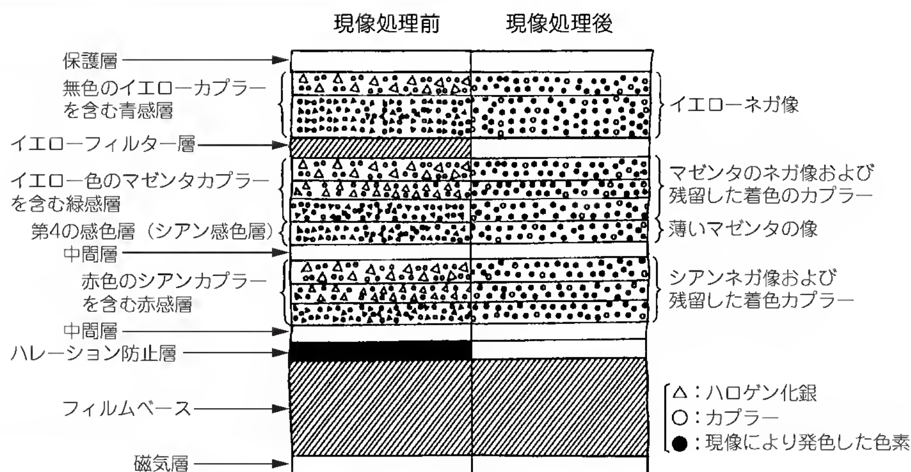
推奨温湿度：
- ○ 温度 25℃以下，相対湿度 30～60%の範囲
- ○ 特に長期にわたる場合
  温度 10℃以下，相対湿度 30～50%の範囲

注 このカラーフィルムの色素は，他の色素と同様に年月の経過により変化します．

9. インデックスプリントによる再注文

カートリッジにはIDナンバーがついており，プリント裏面およびインデックスプリントにも，同じIDナンバーが印字されます．インデックスプリントには，ネガ1本分の撮影絵柄がプリントされているため，インデックスプリント上のコマナンバーのみを指定すれば再注文できます．（アドバンストフォトシステムでは，このインデックスプリントが同時プリント時についています．）

10. 層構成



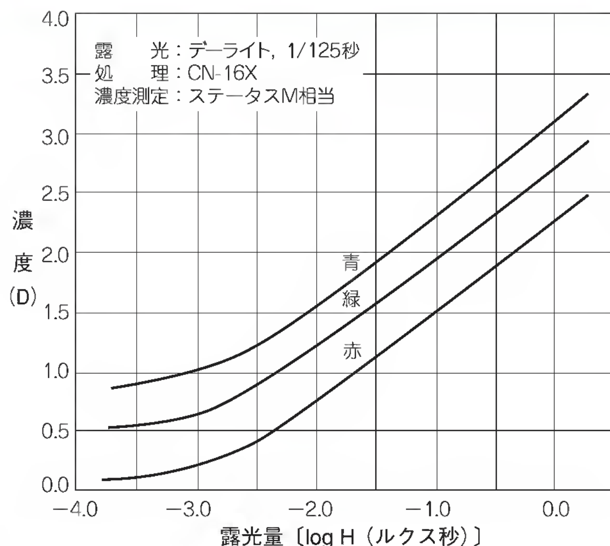
11. 拡散 RMS 粒状度 ……5

ミクロ濃度計の測定アパーチャー：48 μφ
試料の濃度：最小濃度＋ 1.0

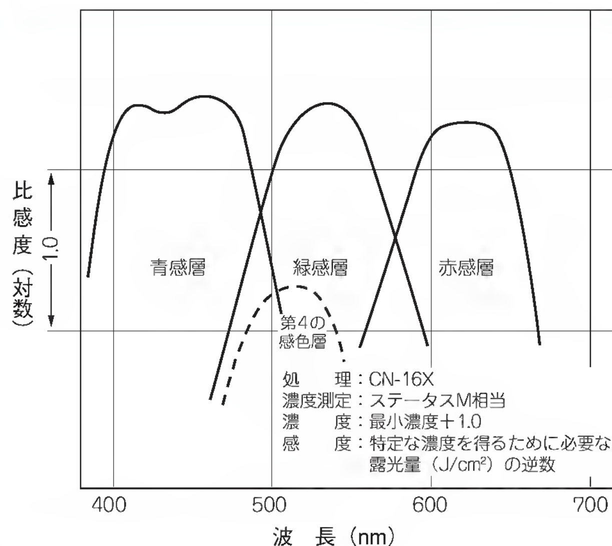
12. 解像力

チャートのコントラスト 1.6：1 .... 50 本 /mm
チャートのコントラスト 1000：1 .... 125 本 /mm

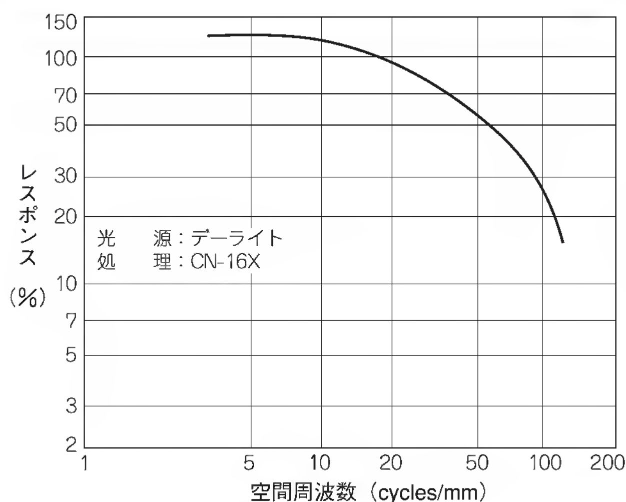
13. 特性曲線



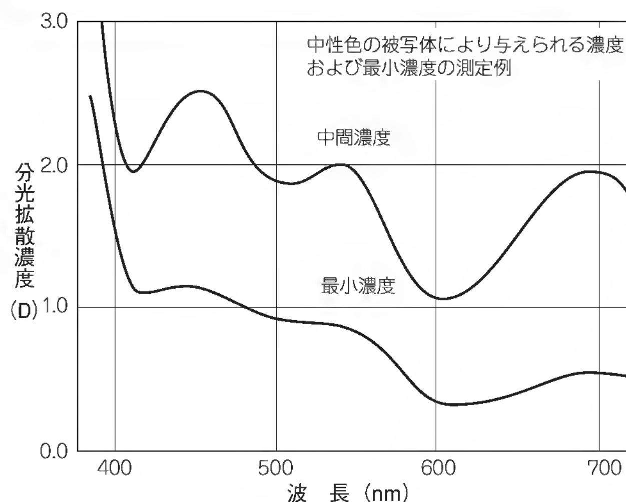
14. 分光感度曲線



15. MTF曲線



16. 色素の分光濃度曲線



注 このデータシートに記載されているデータ類は，当社で通常実施している試験による結果を表示するものです．当社は製品の性能を常にグレードアップしようとしていますので，製品の改良によって，これらの特性は予告なく変更されることがあります．

FUJIFILM

富士写真フイルム株式会社　　感材部

東京本社／〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30 TEL 東京(03)3406-2024
大阪支社／〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11 TEL 大阪(06)6205-6461
札幌営業所／〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館3F TEL 札幌(011)241-7164
仙台営業所／〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル7F TEL 仙台(022)265-2121
名古屋営業所／〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル11F TEL 名古屋(052)203-5261
広島営業所／〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター11F TEL 広島(082)256-3311
福岡営業所／〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1 TEL 福岡(092)281-0231

013Ai179A（営技・00.5-HB・23.5-1 ●）